



知って得して、見て得して、町の歴史

八幡堀界隈のお店へ行こう！  
www.hachimanbori.com

近江八幡開町の祖「豊臣秀次」と「八幡商人」

〔近江屋 内池宗十郎〕(本町)

内池家は日野浦生氏郷の家臣内池備後守の一族で、初代宗十郎は安土城下に住居し、八幡山築城と共に移転し、本町三丁目京街道角地に住居を構え、屋号を米屋と称しました。三代浄清(寛永十三年(1636)没)の代に出羽国大童に出店し、四代浄薫(正徳四年(1714)没)の代に瀬上に出店し、五代徳次郎の代には兄弟の宗感(正徳三年(1713)没)が福島に出店したとす。瀬上出店は明暦元年(1655年)とされ、出店当初は、酒造・醤油・茶のほかに呉服、太物といわれる木綿の織物や麻織物の御用達商人になっており、貞享四年(1687)には福島十萬石掘った伊豆守正仲藩士の御用達商人になっていいます。

その後、衰退したようすが、八代宗十郎永年は(山倉倉の出で養子にはいった)(宝暦十三年(1763)没)嘉永元年(1848)は瀬上近江屋(内池家)を再興し、足守藩御用達商人になるなど実業手腕を発揮し、内池家復興の祖とされています。伝記によれば、二元は一軒なるを今ハ、五軒になせり、家業農桑、呉服、太物、上、小間物、勝手方酒造、醤油、味噌、油、在、本、質、賃)となり、天保期には本家田畑持ち高百石以上とされています。福島の豪商内池三十郎家も宗十郎の一族です。また、八代宗十郎永年は隠居後、国学者本居大平門下となつて、瀬上・桑折を中心とした古学、歌道の知識人結社「みちのく社中」を主宰したとす。桑折の著書が残されていますが、なかでも永年が天保九年(1838)の七十六歳の時に記した「内池家訓」五十五か条は近江商人の規範としてよく知られています。

◇皇国人者 為二天神地祇子一君臣父子夫婦長幼朋友倫義者自備事也(皇国の人は天地の神の御子なれば、君につかへ親にしたがひ、夫婦むつまじく、老たるをうやまひ、幼をめぐみ、友だちには、まことをもてまじはる。人の道て、みいつを増給ひ、人は神の特によりて、運を添といへり、然者恒例の祭祀、怠らず勤め、公儀御掟を守、國所の儀定、違背べからず、火者、万物の善悪の元神なり、恐慎べし、先己が好所をさけて、おのれが嫌事を動べし、曙に起て、家内外庭等掃除いたさせし、日暮に門戸を鎖させ、寝時は自しまりを見とどけ、盗賊を恐るべし、生涯の功徳者、若時にあり、老年の働者正月にあり、一日の勤めは朝に有とすべし、農耕、商、酒造、質賃等、家業專要出精すべし、以下二余力時者、手習学文算術をつとむべし、飲食者、麦雑飯魚菜を好まず家内上下一同たるべし、衣類者、手織袖より以上、木綿服たるべし、女は、格別いへども、身分に似合ぬ美服着せべからず、家作美麗宮べからず、本宅土蔵建物塀圍等無怠修復せし、酒者病を治め身を榮しむるために、神の造り賜ひし物なれば飲飲飲て身にあまる程のむべからず、警客人たりとす、常には長酒宴不可致事は飲飲飲て身にあまる程のむべからず、一膳碗万器物質素用ひ美麗このむべからず、田舎を大切に致二所持一米麦二年の食料貯めおくべし、種類毎秋撰穂に致し、一子を養育専要事、いとけなきも、何にても、氣にいらぬ事を、いひまきする時、側なる器物などをなげほうりてそむさず、疇の虫気ゆ糸と捨ておく事は、親の毒をますといふものなり、虫気ならば、灸をすゑ葉をのませ、つらむむにいたすべし、成人の後氣、儘も身になりて、家をも身をも、失ふものなり、むき教は、権現様御教訓書を見すべし、宗領たりとも、情弱者盤追退、二男三男にても実鉢眞法者を扱て家を継しむべし、嫁は、淑女血統を撰み、相宅の貧乏に不拘縁を結ぶべし、子孫の嫁女は、婿の実鉢眞法と血筋を撰み、貧富にかかはらず、結婚を求べからず、若男子なき時は、家門の内人柄を撰、婿に取べし、本妻の外、妾を持つべからず、遊女飯盛女等、妻に致べからず、家門一族諸親類隣家出入の者迄、睦敷いたしべし、万堪忍者、一生身を守る大事の事とすべし、成人の歌に、堪忍なるかむにんが、堪忍かならぬにむ、するが堪忍、くわしは、権現様御教訓書を見すべし、富貴の人に謙なく、貧者に高ぶるべからず、音信贈答は、時宜によるべし、常例の事は行事帳に記、代参講拝講先例の外新規加入すべからず、頼母子無尽、加入致ねからず、尤無二余儀一子細あらば家門に致相談其時の宜によるべし、公事沙汰新規の商完臨時の買物等者、先負留置損寿流事を前に定勝と利得を後に定、家門相談のうへにていたすべし、男女共、家内に相談なく氣儘に宮寺に参詣、女独歩行いたせべからず、病人は、家内一同に誠心をもて介抱いたすべし、灸治、怠慢なくいたすべし、かかない子供召仕者、都て、人を不しれ致二打擲一、是一大事のことなり、本家田島持高可し、二百石以上、事、本家の主人者、代々分家の主を弟其子とも思ふべし、分家の主は、代々本家の主を親とも思ふべし、本家分家共に、田島屋敷買求候節者、家門相談のうへにていたすべし、家屋敷田島買求、堅禁制の事、毎二分別者に恐、喧嘩口論の場に立寄へからず、遊芸不可習、諸者格別たるべし、出居間に寝伏、先祖より禁制の事、毎二別者中、喧嘩口論の場に立寄へからず、遊芸不可習、諸者格別たるべし、家出二持参可、相整事、附けたり、〇歳書門外に出べからず、右五十箇条者、一応二子孫需二依テ二尊神之教訓二家法ノ議定可、天保九年戊戌七月七日、内池宗十郎永年、七十八歳、(五十五か条です)の後には追記で示されています。

家訓といふより、家の道を教える内容とも受け取れます。商人としての心得についても多く網羅しています。本家分家の結束を重視して、それぞれの取次決算を明らかにして、緊密な関係にあわせて競争心を持たせています。さらに跡継ぎについては、実力のない長男よりも、できる次男三男を選ぶようにし、養子の場合には家門の内から入れるようにとあります。福島で活躍した近江商人内池宗十郎、「内池家訓」に小さい文字ですが触れてみました。

※参考文献/近江八幡人物伝 近江八幡郷土史会刊より抜粋 福島県歴史資料館研究紀要第22号

7/8

11:00~19:00

## 京街道門前通り 昔なつかし 観音山祇園さん縁日

七夕夏祭り開催! みんな集まれ!

**お楽しみ!近江まきまき**  
(美味しい鉄板焼き)

午後12時~ **輪投げ・射的**  
スーパーボールすくいおもちゃ

午後2時~ **もちつき大会**  
つきたてのあつあつお餅をご賞味下さい

子供会七夕ささ飾り展示  
(七夕まつり)  
ヨーヨーつり

午後3時30分~ **ほっとらいん・よし笛**  
午後3時~ **ちどん屋さんパフォーマンス**

**千日法要(絵札祈願)** 願成就寺 14:00~

見てほしいをかなえよう  
**願成就絵札**  
(詳しくは裏面を)  
1枚100円

願成就絵札をご購入いただいた  
お客様にもれなく  
**キャンディのつかみ取り**  
**プレゼント!**  
(お一人様1回限り)

◆スタンプラリー◆  
**観音山イベント広場**  
と撮影しましょう! **焼きそば**  
先着100名様限定 **100円**にて販売

午後12時~午後1時  
午前11時~ **焼きそば/生ビール**  
**焼き鳥/ジュース類**  
**フライドポテト** 販売

午後12時30分~ **ほっとらいん・よし笛**  
午後1時~ **メドレーミックス・バンド**

いろいろなお店が  
たくさん出るよ

**フリーマーケット**  
鮎塩焼・天ぷら・かき氷 など

よく冷えた生ビールを  
**ビアガーデン**  
コーナー

どれどれ  
**新鮮月**  
**フレッシュ市**  
その他多数出店予定

主催 京街道商店街(振) 西京街道商店街 小船木商栄会  
共催 八幡学区子供会指導者連絡協議会 近江八幡観光物産協会 近江八幡地区交通安全協会西支部  
近江八幡商工会議所 近江八幡商店街連盟 近江八幡商工会議所女性会 八幡学区自治連合会

市営小幡観光駐車場前

〒523-0874 近江八幡市小幡町中14  
営業時間/9:30~17:00 駐車場有り  
定休日/無休 TEL 0748-33-2334

八代目内池宗十郎永年は近江八幡岩倉町出身で養子にはいり、七十六歳の時に記した「内池家訓」〇〇〇か条」は近江商人の規範としてよく知られています。さて何力条でしょう。

抽選で5名様  
葦菓子と喫茶券ペアを差し上げます

◆ご希望の方は答え・郵便番号・住所・氏名・電話番号をご記入の上、官製はがき又はFAXでご応募下さい。  
抽選でお送りします。(応募締切は7月5日必着)  
当選者の発表は発送をもってご了承下さい。

〒523-0837 近江八幡市大杉町30の1(有ほのぼの館 クイック係)  
FAX 0748-32-3514

当選者発表

おめでとうございます!		答え:
池田町	I,K さん	9代目
西本郷町	M,K さん	
堀上町	Y,T さん	
八幡町	T,S さん	
北津田町	T,Y さん	

## Cafe YAMAYA

京街道商店街入口

地元野菜の贅沢カレー  
1,300円

■こだわりのカレー .....900円  
「美味しいカレーにはワケがある」カレーの旨さコクを左右する秘密は、タマネギにあり、当店のカレーは厳選した国産タマネギをじっくり丁寧に10時間炒めています。

■本場近江牛丼 .....980円  
かつお節、さば節、昆布の旨味をたっぷり詰め込んだダシを効かせたタレで本場近江牛丼を美味しく仕上げました。

近江牛ビーフカレー900円(税込)がクーポン持参の方は600円(税込)でお召し上がり頂けます。クーポン一枚で5名様有効 クーボン有効期限 29年7月末日

皆様の笑顔と「美味しい」という声を聞きたくて、これからも近江牛カレー、近江牛丼を提供させていただきます。



トマト倶楽部  
PRESENT

お誕生日・記念日 花束プレゼント (7月の方) 3名様

※必ずお誕生日を明記下さい

花王アタック1キロ8個入り (1ケース) 10名様

[トマトカード番号の記入をお願いします]

- \* 布の道標 古裂に宿る技と美 細見美術館 8月20日迄 40名様
- \* パリ・マグナム写真展 京都文化博物館 9月18日迄 30名様
- \* 十人陶色 豊かな色の世界展 滋賀県立陶芸の森陶芸館 9月24日迄 30名様
- \* 井上章一の現代洛中洛外もよう スクラップブック 20名様
- \* ウォーキング記録マップセット 20名様

ご希望の方は郵便番号・住所・氏名・電話番号・希望の品一品をご記の上、官製はがき又はFAXで下記販売所まで、ご応募下さい。抽選でお送りします。

締切 花束 6月30日迄 当選者の発表は発送をもって代えさせて  
洗剤、チケット等 6月30日迄 頂きます。予めご了承ください。

近江八幡の話題 豊臣秀次公法要 村雲御所瑞龍寺 参加自由

第38回豊臣秀次公顕彰法要 平成29年7月15日(土) 午前11時より 受付9時30分よりロープウェー麓駅  
場所：八幡山 村雲御所瑞龍寺本堂

豊臣秀次公顕彰法要は昭和50年代に入って、近江八幡郷土史会や市民有志により、豊臣秀次公の顕彰会が組織されました。市民や県内外の浄財を集め秀次銅像の原型は成瀬修有氏が制作、八幡公園の一角に昭和54年11月に銅像が建立され、翌年4月に除幕式が行われました。郷土史会が主体となってこれまでは銅像前で法要が行われていましたが、平成14年から村雲御所瑞龍寺で誰にでも参加出来る市民ぐるみの顕彰法要となるように、また平成26年より実行委員会方式で法要が村雲御所瑞龍寺で執り行われています。近江八幡開町の祖「豊臣秀次公」市民顕彰の場として多くの皆様のご参加をお待ちしています。



八幡開町  
430年



2016年の法要の様子です。大河ドラマで秀次役の新納慎也氏や歴史学者矢部健太郎氏が参加されました。

村雲御所瑞龍寺本堂

問い合わせ連絡先：平日の10:00~16:00  
実行委員会事務局(白雲館・ハートランド推進財団内)  
豊臣秀次公法要実行委員会 代表 森嶋篤雄  
電話 0748-33-5510  
岩戸 090-5066-8241

秀次公法要終了後に昼食会(直会)を下記のとうり計画しています。併せてご参加下さい。  
13時より郷土料理「喜兵衛」3,000円です。  
お申込み下さい。

定員30名です。  
先着順とさせていただきます。

〒523-0867 近江八幡市魚屋町元9 京都新聞近江八幡販売所 TEL 32-2743 FAX 32-3504

**菓子善**

湖東地方に生まれ、古き時代よりふるさとの手作りとして育てられ、特に当店特製の黒田主、茶玉は厳選された黒砂糖を主原料とした素朴なニッキの香りがする絶品の飴菓子です。  
是非、ご賞味下さい。

〒523-0083 近江八幡市小船木町107  
営業時間/不定 定休日/不定休  
TEL 0748-33-2621

新緑の風と味わいをお楽しみ頂けます!

茶のしらべ  
・菓クッキー  
・菓フロランタン  
・菓せんべい

琵琶湖・西の湖の初夏の太陽をいっぱい浴びた菓の葉を使った菓クッキー・菓せんべい菓アイス・菓シフォンケーキ等近江八幡の素晴らしい水郷風景と共に琵琶湖の環境や、地域を再認識して頂ける事を願い、心を込めてお届けします。手作り感が優しくさらに美味しくいただけます。ギャラリースペース新町浜の喫茶コーナーでは菓のおうちも食べられます。

菓せんべい  
菓アイスクリーム

Gallery Space  
新町浜  
(有)ほのぼの館 近江八幡市大杉町30-1  
TEL.(0748)36-5115